

学生への報告

2012年度授業アンケートの結果について

白梅学園大学・白梅学園短期大学
FD委員会

毎年行われる授業アンケートは、白梅学園大学・短期大学で学ぶ皆さんの学習環境をより良いものにするために、FD委員会が責任をもって実施しています。FD委員会は、大学教員の授業技術向上と、学習環境全体の改善を目指して設置された委員会です。今回のアンケートお内容は、授業担当教員の授業の進め方や教える技術を中心に、皆さんの学修方法について尋ねるものでした。しかし固定の質問項目だけでは捉えられない事項については、自由に記入してもらいました。今年度、前後期2回行われたアンケートの集計結果や、自由に記述して頂いた、授業に関する指摘や意見をもとに、今後、どのように授業改善を進めるのかを報告します。

1. アンケート調査の目的

このアンケート調査は、次のような方法で2002年度から行われています。このアンケート調査によって得られた内容から授業の改善を目指すことを目的としています。

- (1) ゼミナール等を除いて全ての授業でアンケート実施する
- (2) 各授業担当者には、授業後の約10分を、アンケート記入に当てるよう伝えてある
- (3) アンケートの回収は授業担当の教員ではなく事務部門で行い、被評価者(教員)は集計等に関与しない
- (4) 授業毎に集計した結果と自由記述内容を、授業担当者に渡し、今後の授業の対応と学生の回答へのコメントを求める
- (5) 学長および教授会メンバーに、アンケートの結果とFD委員会の授業改善についての意見を報告する
- (6) アンケート結果と授業担当者のコメントをまとめ、皆さんにアンケート結果を報告する
- (7) 以上の取り組みの結果をもとに、次年度の授業をより良いものとするための各種の研修を行う

2. アンケートの経過と結果

前期は7月初旬にアンケートを実施し、各授業の集計結果と自由記述は、授業が終了する前に担当教員に戻しました。後期は12月初旬にアンケートを実施し、1月下旬には授業担当者にアンケートの結果を戻しています。前後期とも、授業終了前にアンケート結果を戻すことが出来たので、各教員は授業終了までの間の対応が可能となりました。また前後期のアンケート毎に、授業担当教員から「アンケート結果についてのコメント」を求めました。このコメントは、この報告書に紹介するとともに、今後の教員の研修や学習会に反映させ、より一層の授業改善に繋げるよう努力したいと考えています。

今年度は、昨年度のアンケート結果を踏まえ教員授業技術研修会を行いました。来年度も、今回のアンケート結果をもとにして研修会を計画しています。

3. 2012年度授業アンケートの分析

履修者数に対する回収数で算出したアンケート回収率は、毎年ほぼ変わらず、前期は80%程度ですが、後期には10%程度低下します。後期のアンケートは、学年末の忙しい時期でもあり、全ての授業で実施されていないことが考えられます。一方、皆さんの提出意欲が低下しているということも考えられますが、翌年の前期アンケートでは回復することから、提出意欲の低下と考えることは出来ないでしょう。しかし、アンケートに回答した結果が、授業改善に繋がっていることを実感するためにも、今後より早く報告するようにすることが必要と考えています。授業担当者に結果を早く知らせ、授業に反映させるとともに、対応についてコメントを求め、他の授業担当者と共有できるようにすることが、授業改善に役立つと考えています。また、アンケートの自由記述欄の具体的な意見は、授業改善に大変参考になります。多くの授業担当教員が、工夫や改善に役立っていると報告しています。

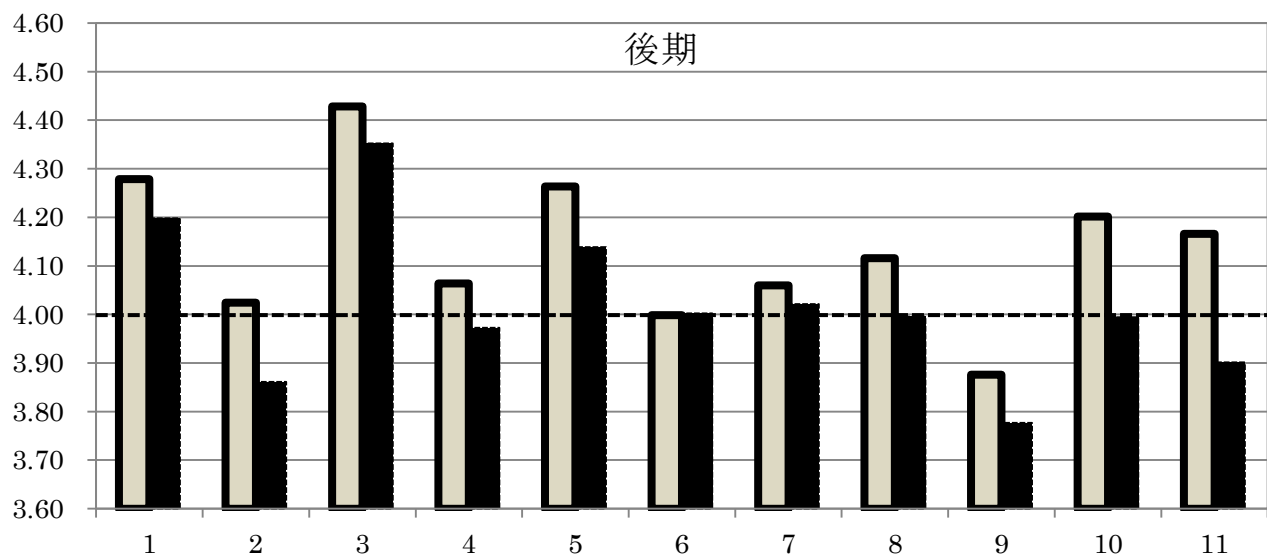
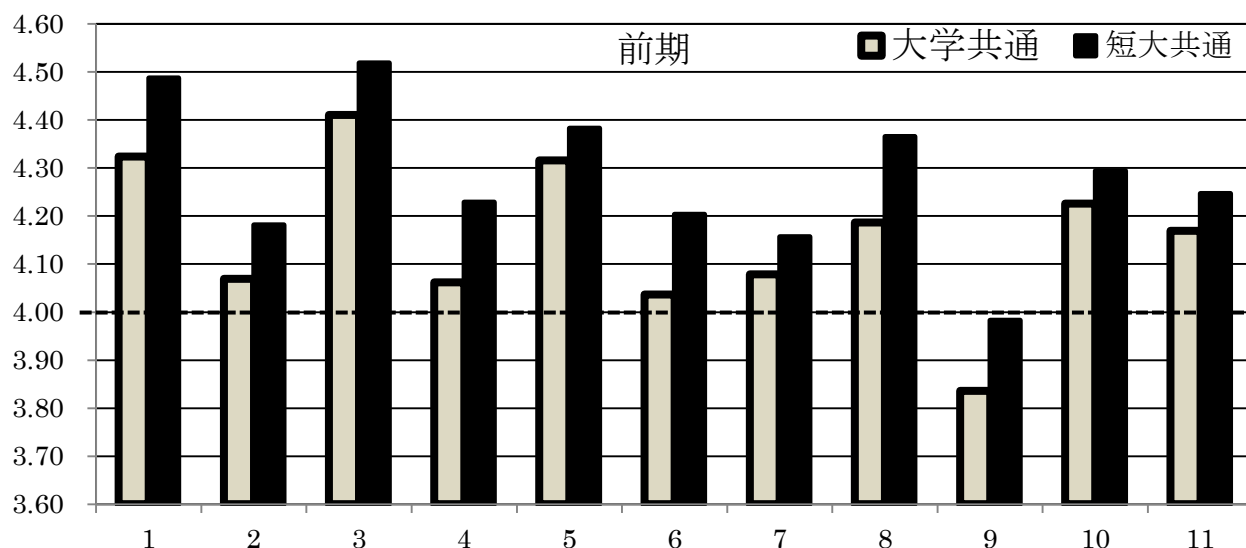
各項目の評価を見ると、ほとんどの質問項目で、5段階評価の良い評価の基準となる4を超えています。11の質問項目のうち、毎年、評価が最も高い項目は「3. 教員は、授業内容に熱意を持っていましたか」という質問です。次に「1. 毎回の授業の目的が明確で、それに沿って行われていましたか」という質問にも高い評価が与えられています。また、「5. 授業での教員の声の大きさや言葉づかいは適切でしたか」という質問にも比

較的高い評価が与えられています。一方、「9.分からないことは、質問したり調べたりしましたか」という質問に対しては、例年通り低い評価が与えられています。この質問は、回答者自身への評価なので謙遜して低くなりがちですが、実際に学修時間が少ないことを物語っているのかもしれませんが。しかし、「8.あなたは、この授業に熱心に参加しましたか」への回答は、相対的に高い評価がなされています。これは、授業には熱心に参加するが、予習や復習はしていないことを意味します。

一方、「2.今までの授業全体の内容を理解できましたか」、「4.教員は、学生の理解度に配慮していましたか」、「7.成績評価の方法と基準は明確に理解できましたか」という質問に対して、相対的に低い評価が与えられていることは、授業担当教員として反省しなければならないことです。分かりやすい授業は、高等教育においても基本であることを徹底して研修を重ねたいと思います。

特に短期大学では、「2.今までの授業全体の内容を理解できましたか」、「10.この授業を受講して、その分野についての新しい知識や技能が得られましたか」、「11.この授業について、総合的に満足していますか」という項目で、後期の評価の低下が大きいことは真摯に受け止めるべきことと考えています。

一方、「6.板書や教材などは見やすかったですか」という質問に対する評価は、授業担当教員によってまちまちでしたが、後期に評価が下がっていることが分かります。自由記述でも、板書やコンピュータでのプレゼンテーション、マイクの使いかたなど、基本的な授業技術の向上を求める意見が沢山寄せられました。日頃、授業担当教員が何気なく行っている行動が、授業の進行を妨げていたり、ノートを取る学生を邪魔していたりすることが分かりました。今後、FD 研修会等で教員の授業技術の向上に努めたいと思います。



今回のアンケートの自由記述には、授業中の私語が多いなどの苦情は減少しました。これは、教員の授業技術の向上によるものと言うよりも、学生の皆さんが、積極的に授業に参加していることが原因と考えられます。

従来から、私語は他の学生の学びを妨害すること、授業を妨害することとなり、権利侵害であることを説明し、授業を受ける皆さんの姿勢についても考えてほしいと呼びかけました。自由記述の中には、私語に対する注意の方法にも意見が寄せられています。特に、注意することによって授業が中断することに懸念を抱く声がありました。今後、このような授業妨害にあたる行為について、どのように対応するのが、授業技術のひとつとしても重要な問題です。

また、教員の言動についての指摘、意見も多く寄せられました。自分自身へ投げかけられた言葉ではなくとも、他者に対する悪口や不適切な表現など、聞いていて不快な表現は謹んで欲しいといった意見も複数ありました。また、回答者自身、あるいはクラス全体に投げかけられた言動に対する抗議もありました。これらの意見に対する改善の方法は、FD活動の一環として、授業研修の中で取り上げていくこととします。

また休講や、それに伴う補講の持ち方についても、多くの意見が寄せられました。「1.毎回の授業の目的が明確で、それに沿って行われていましたか」という質問項目には、常に高い評価が与えられています。しかし、残念ながら、全ての授業でシラバス通りの授業進行がなされているわけではないということになります。本学教員の多くが、教育・研究の一環として共同研究や社会活動を行っています。このような活動は、教育をよりよいものにするためでもあるのですが、休講など「責務相反」の問題を生じさせてしまうこともあります。勿論、授業を最優先させなければならないことは、FD活動の中でも徹底するとともに、授業技術の向上を図るという観点からだけではなく、また一教員の言動の問題としてではなく、大学全体の倫理問題として課題を共有して解決するように努力します。

各教員から寄せられる、自由記述を含むアンケート結果に関するコメントも、授業技術あるいは授業内容に対する指摘を尊重して、以降の授業に活かしたいという内容が大半を占めています。FD委員会では、これらのコメントも教員間に公開して、よりよい授業を見いだすための解決策を探りたいと考えています。

4. 授業担当教員への要請

評価とこれら自由記述の指摘を参考に、教員には次のように要請しています。

- ・ シラバスに則った授業進行。
- ・ 学生の理解度を配慮した授業。
- ・ 大切なところを特に大きな文字などによりわかりやすい板書。
- ・ コンピュータを用いたプレゼンテーション等、情報機器使用技術の向上。
- ・ 適切な表現、話術などについての努力。
- ・ 遅刻や私語に対して、授業妨害であることを明確に伝える。
- ・ 成績評価の明確化。
- ・ 休講などの回避と、学生に負担をかけない補講の実施。

以上の要請とともに、今後FD委員会は、FDを推進するための研修を計画し、多くの教員が技術の向上に努め、授業に反映させるよう要請しています。

5. 今後の進め方について

アンケートから得られた意見は、授業アンケートへ取り組みを分析する貴重な資料です。大学での学修は、ゼミナール、図書館や自宅での自習、友人との討論なども大切ですが、今回のアンケートの対象となっている教室での授業は最も重要な学習です。学生の皆さんからの意見を尊重し、授業担当者である教員、及びそれを支える事務職員ともに、教室における授業内容、方法の改善や、教育環境の整備に努めたいと思います。

また、学生の皆さんに、より良い学習環境を整えるために、このアンケートを実施しましたが、授業に関する意見、苦情はアンケート実施にかかわらず、いつでも受け付けられます。

在学生の皆さんへの次回の授業アンケートは、例年通り、2013年7月と11月に実施を予定しています。また、アンケートの質問項目や回答の集計方法、自由記述に書かれた意見に対する迅速で適切な対応などの検討も行います。

もしアンケート項目などで意見などあればFD委員会までお寄せ下さい。

資料 2012年度授業アンケートの集計結果(履修者、回答者は授業履修の延人数)

	1 毎回の授業の目的が明確で、それに沿って行われていましたか	2 今までの授業全体の内容を理解できましたか	3 教員は、授業内容に熱意を持っていましたか	4 教員は、学生の理解度に配慮していましたか	5 授業での教員の声の大きさや言葉づかいは適切でしたか	6 板書や教材などは見やすかったですか	7 成績評価の方法と基準は明確に理解できましたか	8 あなたは、この授業に熱心に参加しましたか	9 分からないことは、質問したり調べたりしましたか	10 この授業を受講して、その分野についての新しい知識や技能が得られましたか	11 この授業について、総合的に満足していますか
1. そう思わない											
2. ややそう思わない											
3. どちらともいえない											
4. ややそう思う											
5. そう思う											

2012前期	履修者	回答者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	平均
大学共通	2,327	1,921	4.32	4.07	4.41	4.06	4.32	4.04	4.08	4.19	3.84	4.23	4.17	4.16
子ども1年	1,641	1,403	4.34	4.11	4.47	4.00	4.32	4.20	4.04	4.23	3.80	4.31	4.17	4.18
子ども2年	599	454	4.35	4.04	4.42	3.89	4.14	3.76	3.85	4.14	3.79	4.22	4.00	4.05
子ども3年	1,240	832	4.49	4.18	4.66	4.24	4.49	4.29	4.06	4.27	3.89	4.48	4.33	4.31
子ども4年	164	113	4.57	4.21	4.67	4.24	4.60	4.34	4.15	4.23	3.97	4.40	4.31	4.34
発達臨床1年	397	377	4.43	3.99	4.58	4.17	4.59	4.23	4.05	4.21	3.61	4.38	4.34	4.23
発達臨床2年	692	565	4.23	3.81	4.39	3.80	4.24	3.99	3.89	3.97	3.63	4.12	3.96	4.00
発達臨床3年	344	215	4.37	4.11	4.55	4.12	4.50	3.84	3.93	4.25	3.94	4.40	4.25	4.21
発達臨床4年	93	50	4.20	3.84	4.30	3.92	4.30	3.88	3.90	3.95	3.73	4.15	4.08	4.02
家族・地域1年	331	260	4.49	4.27	4.52	4.28	4.44	4.17	4.14	4.29	3.85	4.46	4.31	4.29
家族・地域2年	276	171	4.12	3.91	4.26	3.96	4.27	3.75	3.73	3.85	3.44	4.05	3.93	3.93
家族・地域3年	209	156	4.44	4.29	4.50	4.38	4.48	4.35	4.26	4.23	4.00	4.27	4.32	4.32
短大共通	711	529	4.49	4.18	4.52	4.23	4.38	4.20	4.16	4.37	3.98	4.29	4.25	4.28
保育1年	767	706	4.61	4.37	4.57	4.37	4.47	4.33	4.27	4.45	4.05	4.47	4.39	4.39
保育2年	1,978	1,580	4.25	4.03	4.30	4.01	4.20	3.97	3.94	4.04	3.72	4.13	4.04	4.06
全体	11,769	9,332	4.38	4.09	4.47	4.11	4.38	4.09	4.03	4.18	3.82	4.29	4.19	4.18

2012後期	履修者	回答者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	平均
大学共通	1,369	1,010	4.28	4.02	4.43	4.06	4.26	4.00	4.06	4.12	3.88	4.20	4.17	4.13
子ども1年	977	786	4.05	3.83	4.27	3.64	4.08	3.74	3.78	4.02	3.70	4.13	3.86	3.92
子ども2年	1,356	986	4.56	4.37	4.60	4.37	4.53	4.36	4.22	4.34	4.01	4.45	4.45	4.39
子ども3年	1,092	559	4.50	4.20	4.62	4.30	4.45	4.33	4.12	4.34	3.98	4.44	4.33	4.33
子ども4年	264	122	4.55	4.14	4.64	4.19	4.59	4.39	3.78	4.46	3.87	4.47	4.24	4.30
発達臨床1年	451	273	4.56	4.20	4.49	4.11	4.46	4.18	4.10	4.24	3.86	4.39	4.35	4.27
発達臨床2年	360	252	4.31	4.15	4.38	4.09	4.39	4.10	4.02	4.11	3.91	4.28	4.18	4.17
発達臨床3年	164	89	4.44	4.33	4.61	4.46	4.67	4.35	4.05	4.41	4.19	4.64	4.54	4.43
発達臨床4年	78	26	4.00	3.84	4.13	3.75	4.27	3.90	3.63	4.08	3.51	3.90	3.79	3.89
家族・地域1年	244	162	4.59	4.31	4.53	4.39	4.30	4.08	4.12	4.27	4.03	4.47	4.38	4.32
家族・地域2年	470	249	4.06	3.90	4.25	3.84	4.09	3.76	3.68	3.85	3.50	3.91	3.90	3.89
家族・地域3年	272	135	4.28	3.98	4.25	4.08	4.37	4.07	4.01	4.06	3.87	4.17	4.13	4.12
短大共通	204	193	4.20	3.86	4.35	3.97	4.14	4.00	4.02	4.00	3.78	3.99	3.90	4.02
保育1年	1,054	900	4.47	4.31	4.54	4.36	4.48	4.23	4.21	4.29	3.90	4.37	4.35	4.32
保育2年	1,308	904	4.25	4.15	4.36	4.15	4.27	4.10	4.07	4.15	3.87	4.20	4.17	4.16
全体	9,663	6,646	4.34	4.11	4.43	4.12	4.36	4.11	3.99	4.18	3.86	4.27	4.18	4.18